

# 東京薬科大学新聞

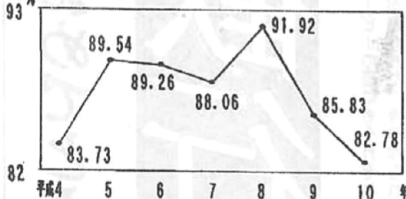
発行所 東京薬科大学 新聞会  
責任者 原 太志

五月号

# 薬剤師国家試験

## 開校以来初!新卒者平均下回る

### 国試の合格率推移



第八十三回薬剤師国家試験の結果が先月二十三日に発表された。結果は左表の通りである。

本学の合格率は約八十三%であり、私大の新卒者平均を下回った。これは開校以来初めてのことである。男女別で見ると男子は約七十四%、女子は約九十四%という結果だった。男子は毎年合格率が低いのだが、今年はいくらも低下した。そのため、本校全体の合格率も大幅に下がった。データによると、二百四十点満点中、約六割の百四十一点が合格最低点と予想される。

出題された問題は、基本的なものばかりであったが、基礎薬学分野の中で偏りが見られた。合格率が低下した原因は、この分野の勉強不足が考えられる。基礎薬学には、有機化学や機能形態学、物理化学など一、二年で学ぶ学問が含まれる。これらは薬学を学ぶに当たって基本となる学問である。従って、国試の対策にも欠かすことはできない。それに加えて、薬事法規の分野でも、あまり成績が振るわなかった。本学でも国試対策は色々行われているが、毎年変化している内容に追いついていないのが現状である。

最後に、国試担当の田部井助教から、薬学部の新卒生へ一言を頂いた。

「今回の国試のレベルは比較的易しい。しかし、その内容は多岐に渡るため、四年間の積み重ねが合否を大きく左右する。従って、自分の勉強法を早いうちに確立することが合格への早道となる。また、国試の模擬試験でもある卒業試験の結果は、その後の勉強に少なからず影響を与えているようだから、程々に問題を解いている人は油断してしまうのか、落ちやすい傾向にある。知識が豊富なのは新卒者である。その機会を逃さぬよう、最後まで努力を続けることが重要である」

最近の学生は勉強への意欲が欠けていると多くの先生方が指摘している。もう一度勉強に対する考え方を直し、どうだろうか。

本学合格率	昨年度 (H. 9)	本年度 (H. 10)
新卒	85.83%	82.78%
既卒	34.74%	40.16%
総合	77.78%	73.86%
全国合格率	昨年度 (H. 9)	本年度 (H. 10)
新卒	84.22%	82.01%
既卒	48.04%	46.18%
総合	75.37%	72.74%

野でも、あまり成績が振るわなかった。本学でも国試対策は色々行われているが、毎年変化している内容に追いついていないのが現状である。

最後に、国試担当の田部井助教から、薬学部の新卒生へ一言を頂いた。

「今回の国試のレベルは比較的易しい。しかし、その内容は多岐に渡るため、四年間の積み重ねが合否を大きく左右する。従って、自分の勉強法を早いうちに確立することが合格への早道となる。また、国試の模擬試験でもある卒業試験の結果は、その後の勉強に少なからず影響を与えているようだから、程々に問題を解いている人は油断してしまうのか、落ちやすい傾向にある。知識が豊富なのは新卒者である。その機会を逃さぬよう、最後まで努力を続けることが重要である」

最近の学生は勉強への意欲が欠けていると多くの先生方が指摘している。もう一度勉強に対する考え方を直し、どうだろうか。

### 平成十年度入試結果

募集人数	受験者数	合格者数	倍率
<b>薬学部 (男子部)</b>			
推薦	40	162	4.0 (4.4)
一般A方式	20	788	7.8 (9.3)
一般B方式	160	1,320	3.9 (4.3)
合計	220	2,270	4.8 (5.4)
<b>薬学部 (女子部)</b>			
推薦	40	318	7.4 (9.3)
一般A方式	20	848	7.1 (9.6)
一般B方式	100	954	4.2 (5.1)
合計	160	2,120	3.8 (6.9)
<b>生命科学部 (分子)</b>			
推薦	25	95	3.3 (2.7)
一般I期	60	1,143	5.8 (6.4)
一般II期	15	103	2.6 (4.5)
合計	100	1,341	3.9 (5.9)
<b>生命科学部 (環境)</b>			
推薦	15	51	3.2 (2.9)
一般I期	35	613	4.6 (4.5)
一般II期	10	26	3.3 (1.3)
合計	60	690	3.7 (4.4)

先日、本学の平成十年度入試結果が発表された。結果は左表の通りである。

薬学部は、男子部、女子部ともにA方式で、受験者数が大きく減少した。これは本年度センター試験の平均点の低下を受けたためと予想される。また、B方式でも受験者数は減る傾向にあり、一昨年に比べると二百人以上も少なくなった。このような傾向は一時期の、薬学人気落ち着き、安定化に向かっているの

## 平成十年度入試結果

生命科学部の推薦入試は、面接のほか実際に実験を行い論文を書かせるという、新しい試みで実施された。推薦試験当日には新聞社の取材もあった。また環境生命科学科のII期募集では、昨年の十三・三倍という高倍率の反動が受験者数が著しく落ち込んだ。生命科学部では平成十一年度から募集方式を従来のI、II期募集からA、B、C方式に変更される。B、C方式は従来のI、II期募集に相当しA方式はセンター試験の結果のみで合否が決定するというものである。センター試験のみを利用した入試方法が新たに導入される事で、生命科学部の受験生にとって選択の幅が広がるといえるだろう。

将来危惧される超高齢化社会や、環境破壊などの諸問題に対して、本学の学生も果たす役割は大きくなると思える。このことから、今後本学の研究内容に興味を持った受験者が増加していくのではないだろうか。

## ディアボロス

悪魔の扉

共にニューヨークの法律事務所へ向かう。しかし彼は成功の扉を開ける度に、悪魔の心を手に入れる代償として、彼は大切なものを失おうとしていた。

競争社会と化した現代において、三人公が自分を見失っていき、誰の心にも悪魔が潜んでいるという事実を生々しく浮き彫りにし、見る人の心を震憾させる。大事なことは、物事の本質を正確に見極めることである。この映画はスクリーンを通して訴えかけている。

仕事をとるか、愛する人をとるか、の選択を迫られた時、貴方ならどうするだろうか。ケウインの決断とその後運命から目が離せないだろう。

最後の扉を開けた時、彼を待ちうけているものは一体何か。その結末を是非、貴方自身の目で確かめて欲しい。

生命科学部の推薦入試は、面接のほか実際に実験を行い論文を書かせるという、新しい試みで実施された。推薦試験当日には新聞社の取材もあった。また環境生命科学科のII期募集では、昨年の十三・三倍という高倍率の反動が受験者数が著しく落ち込んだ。生命科学部では平成十一年度から募集方式を従来のI、II期募集からA、B、C方式に変更される。B、C方式は従来のI、II期募集に相当しA方式はセンター試験の結果のみで合否が決定するというものである。センター試験のみを利用した入試方法が新たに導入される事で、生命科学部の受験生にとって選択の幅が広がるといえるだろう。

将来危惧される超高齢化社会や、環境破壊などの諸問題に対して、本学の学生も果たす役割は大きくなると思える。このことから、今後本学の研究内容に興味を持った受験者が増加していくのではないだろうか。

## 薬味

最近、「鉄道」に関するゲームの人気が上がってきているという。そこで、鉄道関連の話題を一つ取り上げたいと思う。青梅線と南武線にまたがって、石灰石の輸送列車が走っている。青い大きな機関車が、石灰石を満載した赤茶色の貨車を引いていく。立川駅の奥の方に止まっている姿を見たことがある方もいるだろう。だが、この光景も間もなく見取めなくなろうとしている。この輸送列車が、年内で廃止されることが決定しているのだ。青梅線と南武線を通る輸送列車の運行目的は、奥多摩で採れた石灰石を浜川崎にある加工工場まで運ぶことである。昭和六年に開始されて以来、現在にいたるまでの七十年に渡り、関東における産業の一翼を担って走り続けてきた。ところが年内にその加工工場が閉鎖されることとなり、それに伴ってこの輸送列車の廃止も決定した。青梅線と南武線の両線は建設当初の目的として、地域振興・旅客輸送などに加え、「石灰石の輸送」を掲げていた。その目的の一つが、今まさに失われようとしている。▼かつては、全国各地でこの様な石灰石輸送が行われていた。しかし、現在では輸送の効率化等で、鉄道による石灰石輸送は徐々に削減されている。この様な削減や廃止といった決定権の多くは、石灰石を扱う企業の側にあり、不要となればすぐに切り捨てられてしまう。かくして、青梅線と南武線の石灰石輸送も列車も、消えていく事になってしまったのである。▼廃止の時は、一刻一刻近づいてきている。皆さんにも是非一度、青梅線と南武線を駆け抜ける、石灰石輸送列車の最後の姿を見ていただきたい。(まは)

# 新入生入学おめでとう!

# 新歓行事

先月、新入生の入学を祝うため、毎年恒例の新歓行事が数多く行われた。その中で、去年まで行われていた学術部門主催の榊木オリエンテering大会が、今年から新歓学術スポーツ大会に変更された。

各団体とも熱心に取り組んでおり、新入生と上級生がふれ合う絶好の機会となった。今回は、五つの新歓行事の特集をしてみた。なお、体育部門主催のマラソン大会は、五月十六日(土)に行われる予定である。

## スポーツ大会

去る四月十八日(土)に、学術部門主催で、新歓学術スポーツ大会が行われた。これは、去年まで行われていた榊木オリエンテeringに代わる、新たな新歓行事である。本大会では、去年と同じくクラスオリエンテering中に新入生の参加者を募り、大会直前の受付で十二の班に分けた。今回の参加者は新入生が約五十人、上級生は約百人であった。これは悪天候だった為、当初の予定人数よりかなり少なかった。これに伴い、午前中は体育館でソフトバレー、食事をとった後ビンゴ大会という雨天プログラムが実施された。どちらも屋内での開催であったにも関わらず、かなりの盛り上がりを見せていた。

結果は六班が優勝した。さらに、五位までに入賞した班

とフリーの班にそれぞれ賞品が贈られた。今年作られた新しい新歓行事は、大盛況のうちに幕を閉じた。

## 音楽祭

四月十五日(水)と二十一日(水)の二日間、毎年恒例となっている音楽祭がP.I.Tにて行われた。

参加した団体は、ギターアンサンブル部、軽音楽部、合唱団、モダンジャズ研究部、ハルモニオ管弦楽団(十五日のみ)であった。

## 春展

四月十五日(水)から二十一日(水)まで、春展がP.I.Tにて開催された。

これは文化部門に所属する団体が合同で行う展示会である。今年も例年通り美術部・写真部・やきものクラブが参加した。訪れる人は、その個性溢れる素晴らしい作品の数々に足を止めていた。

六月月上旬に、同形式の校内展も行われる。今回惜しくも見逃してしまった人や、普段このような作品展に触れる機会のない人も、是非足を運んでみてはどうだろうか。

## 学術研究発表会

第十九回学術研究発表会が学術部門の八団体の主催で、四月二十五日(土)に行われた。これは、学術部門の活動を新入生に知ってもらうため、毎年この新歓期に行われているものである。

研究内容については、昨年と同様に身近なものをテーマにしている団体が多かった。このため、発表は専門的知識を持ち合わせていなくても理解することができ、大変興味深いものであった。来年も是非、素晴らしい発表を期待したい。

## 新歓キャンプ

三月三十一日(火)から四月二日(木)にかけて、毎年恒例の新歓キャンプが、北野大学セミナーハウスで行われた。

今回のキャンプには、上級生・新入生合わせて約二百八十人が参加した。今年も雪が降るなどあいにくの悪天候だったが、屋内で行われた立食パーティーをはじめ、様々なゲームが参加者たちを楽しませていた。

入学式を直前に控えていた新入生は皆、少なからず大学生活への不安を抱いていただろう。今回の行事は、東栗の雰囲気にあれ、上級生とも親しくなれる良い機会になったのではないだろうか。

## 自治議長交代

四月二十二日に、定例自治委員会において、平成十年度自治委員会常任幹事議長団が左記の通り決定した。

- 議長 二一分 久保 遊野
- 副議長 二一F 藤原 洋子
- 書記 二一G 松村 愛子
- 二一F 布谷 真子
- 二一A 石川 裕史 (敬称略)

新議長に今年度の抱負を伺った。

「今年度の自治委員会議長になりました久保遊野です。本委員会は学生大会に次ぐ議決機関です。また、皆さんが普段不満に感じていることや改善してほしいことなどを、一つ一つ議論する場です。私は年間を通して、皆さんからの言葉を出来るだけ生かしていきたい」と考えています。具体的には、目安箱を設置することで、皆さんの意見を広く取り入れます。このようにして、皆さんの意見を反映させたいです。

先日、埼玉県立所沢高校で生徒と校長の意見が対立し、それぞれ別の入学式を行うという問題が起きた。事の発端は、校長が国旗掲揚・国歌斉唱を、入学式で実施しようとしたことだ。在校生はこれに反発して、入学式の代わりに、生徒会主催の入学式を祝う会を行う事に決定した。しかし、校長は入学式を行うと公言し、その後話し合った結果、入学式と入学を祝う会が時間をずらして行われることになった。両者共にもう少し歩み寄って、新入生を迎えることは出来なかったのだろうか。

校長側は、学習指導要領の内容を強調した。さらに

## 選管決定

先の自治委員会において、平成十年度の執行委員会役員選挙における選挙管理委員会が発足し、委員長が左記の通り選出された。

- 選挙管理委員長 二一C 高橋 由介 (敬称略)

新委員長に今年度の抱負を伺った。

「今年も執行委員会役員選挙の時期がやってきます。執行委員会は、部室棟の管理や部活動などを統括している委員会です。しかし、年々区下の形勢が悪化すると、入学許可を盾にとり、入学式への出席を強制しているかのような通知を送り付けた。だが、学習指導要領はあくまでも教育の基本であって、必ずしも実行する必要はないのである。また、入学許可まで引き合いにさらされては、新入生は出席せざるを得ない、いくら立場が悪くなったとはいえず、このような事をするべきではなかった。だが、生徒側にも非はあった。新入生のために行うべき入学式を、校長との対立の材料にしたようにも思われる。さらに、マスコミやP.T.Aな

## 県立所沢高校

傾向にある投票率は、学生の関心の低さを表わしていると言えます。もし、投票数の基準が満たされなければ、役員を選定することができません。その結果、学生の自治活動ができなくなることもありえます。今以上に積極性ををもって、選挙に参加して欲しいと思います。」

今年度の選挙に際し、立ち合い演説会が、五月十八、十九日午後一時より、コミュニケーションプラザ前で行われる。また、投票は二十、二十一日に、部室棟前及び中央ホールで行われる。積極的に参加していただきたい。

## お詫び

一月十六日に発行した号外の記事、岡田環インタビューにおいて、石戸良治先生の所属する教室が「第一薬科学教室」となっておりましたが、正しくは「第一薬化学教室」の誤りでした。この場をお借りして、関係者の方々へ深くお詫びを申し上げます。

どにあおられ、意地になったよ。この結果、生徒側の人学式に出ないで欲しいという気持ちを、彼らに押しつける形になった。始めからお互いにある程度妥協して、第一部は入学式、第二部に入学を祝う会として行えばよかった。そうすれば混乱もなかった。新人生全員が気持ちよく高校生活を始められることが出来たと思う。

両者とも意見を主張するばかりで、本来の原因を解決するのではなかった。決断するのではないかと、今後の場合は、お互いを尊重し合うという心で大事にして欲しい。(増井)

## 行事予定

五月十六日(土) マラソン大会

マラソン大会の季節ですね。でも、近頃は運動していません。食生活も偏っています。間食+レトルト食品。いくら忙しいとはいえ、これではいけません。でも忙しい所為で、食事もしょっちゅう抜いているから、太る心配だけはしないで済むかな、くれぐれも、よいこの皆は真似しないように。(蘭マスター)

◆ぜったい幸せになつてやるうらうらうー (松)

◆連日の終バスで、疲れきりました。助けて。(久方)

◆今年の目標「頑張るよ」何を...?ないしょだよ。応援してね!(葉月)

◆鬼の目標、周りの噂に白黒つける。実習マイストロになる。階段を正座で落ちない。こんな感じかな。(鬼)

◆私の目標、鬼の言うことを信じない。会室をきれいにする。階段を正座で落ちない。こんな感じかな。(ね)

◆皆さん本当にすいませんでした。ありがとね。てうかありかと。(直治)

◆今号は、大変な困難を伴った。特に悔の担当です。みなさん、ご迷惑をおかけしました。ごめんください。(葵)

◆どうして俺が一番ワープロ使ってたんだー!! (T)

◆愛ちゃん強い(アマミ)

◆誰か助けてください。なぜこんなにならしたんだ(星)

◆ばいばいりん(センチ)

◆腹痛が痛い。(ちび)

◆ちょっと早いけど宝塚記念はフクキタルで。(馬券師)

◆私、甘党なの♡キング・オブ・ストロベリー(デビル)

◆後悔の心が燃えている(刻)